



第461号 「がんばろう、日本！」 国民協議会 機関紙

発行所「がんばろう、日本！」 国民協議会
発行人 戸田政康
編集人 石津美知子
http://www.ganbarou-nippon.ne.jp
(東京事務所)
東京都千代田区九段北4-3-16
サンライン第14ビル6階 〒102-0073
TEL 03(5215)1330
FAX 03(5215)1333
(発行所)
東京都東大和市南街2-17-16
パピルス会館 〒207-0014
TEL 042(566)2950(代)
FAX 042(566)2949

立憲的独裁への白紙委任か

立憲民主主義を支える意思を作り出すのか

「国民なめるな」解散

国民に信を問うほど、国会で議論しているのか？

安倍首相は9月28日に召集される臨時国会で、所信表明演説を行わず、冒頭で衆院を解散する。臨時国会の開会式も開かない。首相は25日に公明党の山口代表と会談し、こうした日程を確認、同日夕の記者会見で衆院解散の意向を表明する方針という(読売9/21)。

そもそも臨時国会の開催は、加計学園問題をめぐって野党が憲法53条に基づいて6月から要求しているもの。憲法53条には、「いずれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があれば、内閣は、その召集を決定しなければならない」とある。「ならならい」とあるように、これは内閣の義務だ。それを三ヶ月以上も放置した挙句、所信表明も、閉会中に任命したばかりの内閣との質疑も行わず、冒頭で解散するといったのだ。ここまで国会審議を封じる姿勢は、「丁寧な説明」とはほど遠い。国会は政権の追認機関、翼賛機関なのか。これは立憲的独裁とどうべきではないか。

「今今の勝てる」という判断だ。だからこそ「争点」は後付けていいし、何でもアリだ。確かに消費税も安保法も重要な政治課題だろう。しかしそもそも、国民に信を問うほど国会で議論が進んでいるのか？ 国会での議論を逃げまくっているのは誰なのか。

安倍法を問うなら、この間の運用実態をもっと情報開示しなければならぬ。南スーダン日報隠しもうやむやなままで、新防衛大臣の質疑もない。北朝鮮の挑発で官邸サイドは、「安保法をやっておいてよかっただろう」と言うのだけれど、北朝鮮非難の国会決議すら、野党に政権批判の機会を与えることを恐れて見送るといふ(毎日9/22)。

国連で「北朝鮮を完全破壊する」というトランプ大統領に呼応して、「必要なのは対話ではなく圧力だ」と演説する安倍総理の下、安保法をどう運用するのか。

違うのか(ナチス政権にワイマール憲法に拘束されない無制限の立法権を授権した)。

立憲民主主義を支える情

民主主義のインフラ整備

待りおらん熊条辰んおりるの期おちそこのててここは

(発行所)
東京都東大和市南街2-17-16
パピルス会館 〒207-0014
TEL 042(566)2950(代)
FAX 042(566)2949
〈郵便振替〉00160-9-77459
「がんばろう、日本!」国民協議会
ゆうちょ銀行 019店 当座0077459

1部 300円
定期購読 半年2,000円
一年3,500円

今号の紙面

2面 一灯照隅 地方議員のコラム
3-6面 インタビュー
「A1のリスクと憲法」
山本龍彦・慶應大学教授に聞く
囲む会・特別編
6-11面 廣瀬克哉・法政大学教授
湯浅誠氏
インタビュー
11-14面 立谷秀清・相馬市長に聞く
岩崎憲郎・大豊町長に聞く

ま選挙をやったならそれで『国民をバカにしている』と思われてしまうだろう。この事態だけは、絶対に避けねばならない」「国民の目には『安倍総理が国会での疑惑追及を逃れるために解散する』みたいに見える。選挙に勝つためには何でもやるのか」という批判も起きているだろう。

「国民なめるな」解散。国民の普通の感覚が試されている。

文える情感の回復と、ノラ整備を

待ちじゃあダメ出し、幻滅の繰り返しじゃないか。

お松 そういふアンタはどうなんだい。

辰 そもそも小池も安倍も9条改憲だ。安倍に反対なら小池に期待するのはおかしいだろう。

熊 まあまあ、そんな頭ごなしじゃ、貸せる耳も貸せなくなるぜ。お松さんよ、民主党政権のときの期待と、小池さんへの期待は同じか？

お松 民主党政権のときはもうちょっとワクワク感があったよ。それに比べりゃ小池さんはどこまでホンモノか見極めようってところかね。あいかわらず、どこで何がどう決まったのか、ブックボックスのまんまだし。

八 たしかに青島知事以来、オリンピック後の人口減少社会・東京の課題を、曲がりなりにも取り上げたのは小池さんをはじめてだろう。東京のユー-

イもこのままじゃ持たないって実感はじめてたんじゃないか。そうなりゃ期待の感情も変わってへらあ。空き家問題だって、親の介護だって、子育てのことだって持続不可能なことだらけだもん。

お松 うちに入入りするヤマトのドライバーさんに聞いてもこのままじゃ持たないってことは分かるし、あたしも出来ることやらなきゃって思うよ。

辰 だから、あれは都民ファーストじゃなくて自分ファーストなんだって。そのうえ、トランプと同じ「ジャパンファースト」だ。希望の党？ 都政・都議会の実態を見れば、失望じゃないか。

八 こっちはまずお互いに、気持ちを通じる会話をしないと。理と情と違うが、情のないところに理は伝わらない。安倍政治ってのは理性も劣化しているが、それ以上に情感がガタガタってことだろう。

熊 このままじゃ持たないってえ実感があるときと、なかったときは、感情も違ってくるってもんよ。安倍さんが信用できないってのと、民進党には任せられないってのは、同じ不信感とはいえないんじゃないか？

お梅 たしかに。民主党にはガッカリしたし、今も任せられないと思うけど、安倍さんが信用できないってのととは違うよね。そもそも、信用できない人に任せられるわけないし。

三太 俺、高校のとき一年だけ無償化で親が喜んでいて、政權

が替わっててこういうことなのかって思ったんすよ。確かあの時自民党は無償化に反対してて、で今度は無償化するよ、しかも憲法変えて？ 何だかその場かぎりじゃね。人づくり革命ってのも、じゃ一億総活躍や女性活躍はどうなったんだった。一年ごとにキャッチコピーが使い捨てられていくのって、コンビニの新商品ならアリだけど、政治ってそういうもんじゃないっしょ？

お松 あたしが一番腹が立つのは、自分の言いたいことだけ一方的に言って、それをしゃあしゃあと「丁寧な説明」だっというってだよ。挙句の果てに「こんな人たちだろ。投票率50%、得票率20%で選ばれたとしても「全国民」のための総理じゃないか。

八 民主党政権は稚拙だったけど、例えば原発について国民的な討論をやったし、原発のメンバーからも官邸で話を聞いた。まあ、まとめるところがダメダメだったわけだが。

三太 そもそも民主主義ってのは、百人いれば百の意見があって、それをあーでもない、こーでもないって言い合ってまとめていくことだろう？ 地域おこし協力隊に行ってる友だちのところじゃ、集落のことはみんなできちんと決めてるってさ。そいつは、めんどういけどおもしろいって言った。

お梅 都会だって、ほんとほそろき。あたし子ども食堂のお手伝いをやってるけどさ、これはまちの困りごとを見つけて、協力するための場「つくりだと思ってるんだ。いろんな意見の人がいるし、PTAや社会福祉協議会やいろんな団体の立場もあるけど、「誰の責任か」じゃなくて「どうやって協力して解決できるか」でやっていけば、時間はかかってても前へ進めるよ。

辰 実はこの間、市議のAさんのタウンミーティングで言い合ったジジイと、たまたま飲み屋で会っちゃったんだ。ちょうどAさんもいて、しょうがないから話したんだけど、そうしたら、そいつも地域で協力しなきゃダメだと思っていたんだな。それを道德やらオヤジの威厳やらで進めるのか、面倒で時間がかかっててもあーだこーだやっていくのか、その違いだったんだ。で意気投合して、Aさんとも相談して、登下校の見守りをやろうってことになったんだ。

お松 Aさんは民主党がポロクンに言われていたときも、かさず毎朝駅に立ってチラシを配ってたよね。駅前の灰皿を移動してくれなんて話にも、今こんなやりとりになってますよ、必ず経過を説明してくれた。三年かかったけど、移動したよ。ああいう人は信用できる。

熊 政治家も政策も使い捨てる消費者民主主義じゃあ、俺らの生活そのものが持たなくなるってことだよな。参加型でやっていかないと。

八 だから政治家ってのは、「お任せ」して「結果を出せ」と要求するんじゃないって、「困りごとを見つけて、解決する」場の仲間なんだと。そういう場を継続していくには、みんなの意見を聞いてまとめていく忍耐力が必要だ。自分の言いたいことを言うのが政治活動だと勘違いされたんじゃないよな。

熊 その感覚が一番欠けているのが、都市部の国会議員じゃないか。

三太 自分ファースト！

八 地域の問題を見つけて、協力して解決していく。その積み重ねのなかでこそ、民主主義のインフラは蓄積されるってことだ。去年の参院選以来の「市民と野党の共闘」が、どこまで地

が赤に就に際を求する金を求が責任のいいますか

―それをまちのなかで回す工夫は？

岩崎 そういふのはなごのじですが、
独居の高齢者が多いので、ヤマト運輸さん
と提携して、住民が町内のお店で頼んだ品物はヤマトさんが150円で届けてくれるようになっていきます。町がいへらか補助していきますが、これは年金を町内で回すという視点ではなくて、町民の暮らしとどう視点でやってくるわけですが、結果として町内のお店で買物をする機会が増えるというところですね。

ヤマト運輸さんには見守りでも協力してもらっています。プライバシーの面で難しいところもあるのですが、代引きなどで言葉を交わして、ちょっと違うなと思ったときには、町に連絡してもらおう。連絡を受けて必要だと思えば、保健師さんに行ってもらったりします。

ヤマトのドライバーさんも地域担当制なので、地域のことをよく分かってくれているのは心強いですね。荷物を届けるだけでなく、そういう協力をいただけるのはありがたいですね。

しの営みを成り立たせること

数字だけで計算したら、そんな地域が成り立つわけがないということになるかもしれませんが、現に生き生きと暮らしている。これを続けていかなければいけないと思います。

だから大豊町のお年寄りは元気です。みんな役割がありますから。それが元気の秘訣かもしれませんね。

社会が成熟するところのほうはいい

とか、ところどころでもあるでしょう。個性を尊重するというのは大切なことですが、行き過ぎると窮屈な社会になってしまったり、人間として失うものもあるとすれば、それは本当の成熟ではないんじゃないか。便利さとか豊かさとか、そんな尺度だけで測ることを突き詰めていったり、生きづらい社会になるような気がしますね。

要かどうか、ところよりも他のところに問題があるのでしょうけれど。
政治もそうですが、自治とどうののみんなの生活の営みの現場にあるものです。国の人には「末端の市町村」とよく言いますが、私は「それは違う」といつも言います。人が生活する、生きていこうとする必要があって町村の自治があり、県があり、国の仕事があるはず。原点は生活の場であって、それを逆転させるのは間違った考えです。

（9月6日。聞き手／戸田政康、石津美知子。タイトル、小見出しとも文責は編集部）

【編集部より】紙幅の関係で、日程については別紙を参照してください。

一面から続く

域に根をはれたのか、それが試されるということでもある。

熊 選挙だけの話じゃない。北朝鮮に対して「必要なのは対話ではなく圧力だ」と国連で首相が演説し、外務大臣が他国に北朝鮮との断交を要求し、ついには副総理が北朝鮮から難民が来たら「防衛出動か射殺か」と。いつから日本はこんな国になったんだ。こんな国のままでいいの

八 「勝ちさえすれば、ルールなんか無視しても問題ない」「バレそうになったら証拠を放棄しちゃえばいい」「いちいち説明しなくても問題ない」。永田町で当たり前のように言われていることを、子どもにも平気で言えますか。それともせめて、「あったものをなかったとは言えない」という大人なのか。国民の普通の感覚が問われているって、こういうことなんじゃないか。

